

企業協賛ワークショップ「株式会社富士建」

建設イノベーション 共創ワークショップ

～建設革新の新たなアイデア創出に向けてみらいの建設をチームで考える～

文部科学省次世代アントレプレナー育成事業
 イノベーション・
アーキテクト養成プログラム
EDGE+R Program for the Cultivation of Innovation Architect

2021 年度 立命館大学 EDGE+ R プログラム

企業協賛ワークショップ（株式会社富士建）

建設イノベーション共創ワークショップ

～建設革新の新たなアイデア創出に向けて～

【募集要項】

立命館大学 EDGE+R プログラム（イノベーション・アーキテクト養成プログラム）では、社会にイノベーションを興すマインドと力を持った人の輩出を目指し、様々なプログラムを提供しています。その一環として、自社もイノベーションを積極的に推進する企業と連携してワークショップを開催しています。今回は建設ロボットなどの先進技術の開発と普及に努めている株式会社富士建と連携したワークショップ（WS）を開催します。WSでは、5名程度のチームメンバーで、与えられたテーマについて新たな建設モデルを考え、発表してもらうことを通じて自分が社会に変化を与えるマインドを育成してもらうことを狙っています。興味のある方は奮ってご参加下さい。

【WS の内容】

2007 年頃をピークにそれまで増加し続けてきた日本の人口が減少に転じました。今後、日本の生産年齢人口は急激に減少していき、人手不足に苦慮する建設産業は、益々厳しい状況に陥ります。このような情勢を背景に建設分野では自動化技術や AI などの先端技術を活用して省人化や効率化を図り、産

業の体質を大きく転換させようという取り組みが始まっています。今回のWSでは、その背景とこれまでの取り組み事例を紹介した上で、将来の建設改革に向けて参加者の皆さんに自由なアイデアを組み立ててもらうことを目指します。

【協賛企業紹介】 株式会社富士建

株式会社富士建は、特殊土木分野を専門とする建設会社で、ローカルの建設会社ながら建設ロボットをはじめとする様々な先端技術の開発と普及に努めています (<https://fjk-co.jp/>)。最近では、建設機械の遠隔操作による工事技術の育成を目指して、重機の模型を使ったトレーニングセンターを立ち上げています。

日 時： 2021年12月11日（土）13:00~17:00 予定

場 所： BKC トリシア1階 第1会議室他

※ただし、新型コロナウイルス感染症の広がり状況に応じて、延期、もしくは中止の可能性もあります。

定 員： 最大15名

応募資格： 立命館大学に所属する学生（学部、大学院、専門、学年、国籍等は問いません）

実施言語： 日本語

内 容：

12:30- 受付開始

13:00-13:10 開会・WSの進め方・チーム分け・講師紹介

13:10-14:10 講義1：動き出した建設改革・視点例の紹介

14:10-14:40 チームビルディング

14:50-16:30 グループワーク（チームごとに遠隔操作の運転）

16:30-17:00 グループ発表 講評

応募方法：下記フォームよりお申し込みください。締切は12月2日（木）23:59です。

応募フォーム <https://forms.gle/EkPqTuYG7NPqZ8ER7>

※応募者多数の場合は、先着順です。

※募集は定員になり次第早期に締め切る場合があります。

※結果は12月3日（金）以降にメールにてお知らせします。

問合せ先： 立命館大学 BKC 共通教育課 EDGE+R 運営事務局 担当：勝屋・吉川

TEL：077-561-5910 Email:r-edge@st.ritsumeit.ac.jp

【学以外コンテストへの応募について】

今年から、一班社団法人近畿建設協会主催で「学生インフラDX技術コンテスト」が開催されます。今回のワークショップで出されたユニークなアイデアは、このコンテストに応募してもらおうと考えています（任意）。詳細は、<https://kyokai-kinki.jp/archives/1488> を参照してください。

応募期間： 2021 年 10 月 22 日（金）～2022 年 1 月 11 日（火）

結果発表： 2022 年 3 月頃

賞 金： 最優秀賞 賞金 50 万円， 優秀賞 10 万円

【コロナ感染症対策】

<参加者全員>

- ・事前にご自宅で検温を済ませ、発熱や息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、嗅覚・味覚異常の症状等がないか確認してください。（発熱は 37・5 度以上もしくは平熱より 1 度以上を目安とする）。該当する場合は出席を禁止します。
- ・会場入口で検温，風邪症状，下痢・腹痛・嘔吐の症状，同居家族の状況の確認と記録を行います。
- ・37.5 度以上の発熱等の症状がわかった場合は，速やかに帰宅して症状がよくなるまで自宅療養してください
- ・全員マスク着用。会場への移動および会場内滞在時にマスク着用を義務付けます。
- ・不要な会話，大声での会話の禁止や咳エチケットを遵守し，会話をする際はできる限り真正面を避けてください。

<運営面>

- ・換気扇・ドアの開放など，換気の徹底。
- ・ソーシャルディスタンス（身体的距離 2m/最低 1m）の確保。
- ・会場内の収容人数は各教室収容定員の 1/2 以内。
- ・会場入り口および会場内に手指消毒液を設置，こまめな消毒・手洗いの徹底。
- ・共有備品（マイクなど）および共用部分（手摺り，ドアノブなど）の消毒の徹底。